



一般社団法人電池工業会
BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <https://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <https://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

2024年10月号

第 112 回 二次電池第 2 部会を開催

2024年9月13日（金）、浅利部会長（パナソニックエナジー株式会社）を議長に、第112回二次電池第2部会を機械振興会館での対面会議で開催した。開会に際して、事務局よりBAJ競争法コンプライアンス・ルールを遵守することが確認されたのち、浅利部会長ならびに清水専務理事の挨拶があった。続いて前回議事録の確認後、各委員会の代表者より、これまでの活動報告を行った。



浅利部会長



清水専務理事

1. 部会長挨拶

政府のサポートを受け、電池産業への補助金支援が進められており、経産省の蓄電池産業戦略が実現できるよう頑張っ参りたいと思っております。

一方で、韓国では EV の火災事故が立て続けに起きており、EV 搭載電池メーカー名の開示、電池の履歴管理の徹底を求める認証制度が発足されることになっています。現在まで日本における電池工業会各社、日本の自動車メーカーは安全第一で開発を進めてきた結果、重篤な火災事故は日本では起きていないと理解しています。とは言え、海外から様々な電池が輸入されますので、消費者が安全安心を得られるルール作りを模索していきたいと思ひます。

各委員会からの進捗報告、前回のアクションアイテムの報告について、活発な議論をお願い致します。

2. 専務理事挨拶

9 月 6 日、正賛合同会議を開催、出席者は 142 名。電池工業会から経産省電池産業課に説明した 4 つの課題①蓄電池戦略検討②普及促進の継続対応③中国リチウムイオン電池規格の動き④リチウムイオン電池回収実態、ならびに今後の車載用電池市場の動向を鑑みた、定置用電池市場の拡大が BAJ の重要課題として説明しました。

3. 各委員会報告

◆技術委員会

各分科会報告

<リチウム二次分科会>

・IEC62133-2(ポータブルリチウム二次安全)改訂において、日本のアクションアイテムを審議。

<LIB 安全性技術 WG>

・IEC62660-3(自動車用 LIB 安全)における DISC 試験のパラメータを日本が作成し、11 月に審議予定。

・JARI で計画しているパウチセル、角型セルの DISC 試験条件を電池セル SWG に参加して確認。

<据置 LIB 分科会>

・IEC63056 Ed1(蓄電システム用 Li 二次安全)を全面改訂する Ed2 の Working Draft に対し 106 件のコメントを提出。

・JIS C 8715-2 2024(産業用リチウム二次電池安全)が、7 月 22 日、電気用品調査委員会で審議され、別表第十二への採用を経産省へ要望することが承認された。

・蓄電システム用ナトリウムイオン電池の安全・性能規格の NP 提案に賛成、PJ には不参加。

<非駆動用車載 LIB 分科会>

・四輪自技会 補機 LIB WG に参加して、普通四輪 12V の JASO TP(自技会規格)策定に協力。

<ニカド・ニッケル水素分科会>

・IEC 61951-1(ポータブル機器用途 Ni-Cd 電池性能)/IEC 61951-2(ポータブル機器用途 NiMH 電池性能) Ed5 は、SC21A WG2 に向けた資料案を審議して、9 月 3 日 PT 会議で説明した。

・IEC 62133-1(ポータブル機器用途 Ni 系二次電池安全)Ed2 の CDV が 6 月に発行され、編集コメントをつけて賛成投票を予定。

<産業用ニッケル水素分科会>

・IEC 63115-1(産業用 Ni-MH 性能)は、技術案件の審議を実施中。過充電未想定設計電池には、1 つの充電電流値、1 つの満充電制御を提案済み。

・IEC63115-2 Ed2(産業用 Ni-MH 安全)へ JIS 独自規格である筐体への難燃材使用の展開を推進中。耐熱焼設計の機器内に電池が設置される場合は不要、各国規制要求の難燃剤グレードが異なる、

バッテリー筐体/単電池外装材の表記ルールを提案することが決定。

<PSE WG>

- ・電安法の改正法案が国会を通過し、法改正が6月26日公布、2025年3月25日までに施行される。政省令改正に継続ウオッチ。

<蓄電システム WG>

- ・国土交通省が発行している建築工事仕様書、標準書の改定一次案に対する意見募集に回答。
- ・電気設備学会(IEIEJ)から質量データベースの確認依頼があり、対応。

<リユース規格分科会>

- ・IEC63330-2(リパーパス評価法) WD2を審議中。
- ・CENELEC(欧州EN規格)のTC21X/WG6 AI13が車載用から産業用へのリユース前提の規格を構築中。IEC63330/63338を参照規格から除外することが確定。

<CFP 規格分科会>

- ・IEC63369-1 Ed1(産業用LIBのCFP計算規則)のCDVコメント審議中。日本コメントは全て受け入れられた。
- ・国内版産業用蓄電池 CFP 算定ルールについて経産省と打ち合わせ。

«技術委員会対応の活動報告»

① BASC 主催 ISO/TC333 国内委員会対応

- ・国内会議開催はなく、コメント募集に対して回答。

② 108 委員会対応

- ・5月30日、第63回108委員会が開催された。電池関連として、IEC62368-1付属書M.4.3において、セルの熱エネルギー源(PS)によっては保護回路に防火用エングロージャが不要とする日本提案を実施。

趣旨は採用、文章等の修正は Adhoc で審議予定。

«技術委員会における審議事項»

- ・PFAS 規制対応 WG 新設が承認された。

«報告事項»

- ・BAJ HP のリチウムイオン二次電池の再利用についての改訂進捗を報告。リユース規格分科会で IEC63338 を基に項目を選定、表示方法を検討、活動計画を策定した。BAJ 顧問弁護士に相談、自動車業界への確認を行い、次回二次電池第2部会で中間報告を行う予定。

◆国際電池規格委員会

- ・IEC61960-4(コイン形 Li 二次性能)、IEC63338(リユースガイダンス)、IEC63330-1(二次電池リパーパス)の国際規格発行。IEC62902(二次電池電池識別表示)は10月中に国際規格発行予定。
- ・Ni 系ポータブル・産業用の性能・安全規格の改訂が進捗中。
- ・車載・ESS の関連規格の改訂作業が進められているが、国際規格発行は先になる状況。
- ・IEC62133-2(ポータブルリチウム二次安全)の CD コメント実施、積み残し案件が多数あり、9月末ソウルでの会議にBAJから参加予定。
- ・IEC63369-1(産業用 LIB の CFP 計算法規格)は800件を超えるコメントを審議中。11月に開催される SC21A の会議までに審議を終えて次のステップに進む予定。
- ・中国提案の SIB 性能・安全規格の開発が承認された。今後 CD が発行され検討が開始される。
- ・中国リチウムイオン電池標準化計画のリスクと対策について各社の意見をまとめた。国際標準に提案される規格については日

本企業への影響が避けられず、エキスパート戦力強化、IEC 役職確保、BASC・他国 NC との協力で対応を考えていきたい。

◆国際電池輸送委員会

1.2 第 64 回国連危険物輸送専門家小委員会

- ・電池業界に大きな影響を与える決定事項は無かった。電池の危険性を分類するための熱連鎖試験の完成目標が、2024 年末から 2026 年末に延長された。全固体リチウムイオン電池に関する日本提案は一部 UN IWG で検討の試験条件を引用しているため、情報提供および各国の意見聴取の場になり、2026 年末採用に向けて新たな提案を行う予定。
- ・危険物要件除外時の表示整合、複数の危険物間の反応性に関する要件明確化、圧壊試験装置の明確化、機器内蔵のコイン電池要件の緩和が採択された。

1.3 SAE G27 会議

- ・円筒形の小さいサイズの基準書 (AS6413、AIR6840) の投票が実施され、承認された。正式発行日は未定。起点セルは 375℃まで昇温する条件が採用され、実験データが提示された。技術的な反対コメントは次版改定で検討され、円筒形電池のみから対象範囲を拡大していく議論が進められている。

1.4 『リチウム金属電池およびリチウムイオン電池の輸送に関する手引書』第 12 版

- ・国連勧告の初回レビュー作業進行中。海上輸送、航空輸送も検討し、年内に完成予定。

2 小型全固体 LIB 輸送 WG

- ・第 64 回国連危険物輸送専門家小

委員会に提案したが、熱連鎖試験が延長されたため、2 年先送りとなった。今後の進捗を見ながら今後の対応を判断する。一方、航空局と打合せを行い、10 月開催の ICAO 会議に非公式文書として説明する予定。

◆普及促進委員会

1. 普及促進委員会

(1) 2024 年度政府への提言活動について

- ・4 つのテーマ①LIB 製造設備改造に対する補助②中国黒鉛輸出規制に対する支援③CN 実現に向けた再エネ導入、GHG 削減支援④資源リサイクル推進の協議を開始した。

(2) 蓄電池における特定国へサプライチェーン依存する部素材について

- ・経産省から、部素材・製造装置で調達先を特定国に依存しているものがあるか調査依頼があり、打合せを実施。該当部素材について情報共有し、今後個社からの依頼に応じて対策、代替国へのアポイント支援を頂くことになった。

2. 定置用 LIB 普及強化 WG

(1) 2024 年度定置用蓄電システム普及拡大検討会

- ・国内で拡大していく系統用蓄電池の導入促進に向けた課題と対応が検討されており、BAJ はオブザーバー参加。今年度 5 回開催予定、2 回目の検討会で、BAJ から定置用蓄電池強化に向けた取組と課題を発表。

(2) 日本製 LIB 優位性の定量的評価に向けた活動

- ・評価用に準備した蓄電システムのオペレーションリージョン試験を NITE と共同で実施した。

- ・類焼試験を NITE のラージチャンバーにて

実施した。結果については現在精査中。
続いて低温サイクル試験と高温複合サイクル試験を実施する予定。

3. 法規 WG

- ・消防危第 303 号の 1.6mm 鋼板を使用した箱については試験不要との認識に対し、危険物保安室から全部改正消防危第 200 号通知を適用する場合は箱の材料試験が不可欠と発言があり、経過措置や試験方法について協議。結果、消防庁からは必ずしも記載通りの試験を実施する必要はないとコメントがあった。細部の確認が必要なため、危険物保安技術協会、消防庁危険物保安室、BAJ の 3 者間で協議を実施。各社で条件や対策が異なるので、法規 WG ではなく、個社から相談して頂くことになった。
- ・近年の規制緩和に関する発令の整理や検討は、都度 WG で確認していく。

◆PL 委員会

(1)消費者庁の事故情報収集

- ・モバイルバッテリー：4－6 月で発生件数過去最大の 40 件。
- ・スマートフォン：4－6 月発生ゼロ。
- ・ノートパソコン：年間 10 数台で、4－6 月は 3 件発生。
- ・電動アシスト自転車：年間 30～40 件、4－6 月は 5 件で例年並み。
- ・充電式電気掃除機：4－6 月は 6 件で横ばい。
- ・ポータブル電源：半年で 22 件発生、例年より多め。

(2)その他

- ・「民生用小型二次電池および産業用リチウム二次電池の安全確保のための表示ガイドライン」第 7 版を 6 月発刊。
- ・キャンピングカーでの LIB 使用における安

全啓発については、外部団体から具体的要望は未入手。

- ・BAJ HP に掲載されている『安全で正しい電池の使い方』の内容見直しに着手。

◆再資源化委員会

- ・回収できない充電式電池(機器内蔵含む)への方策検討

BAJ HP の「小型充電式電池のリサイクル」の内容を見直し、さらに小型充電式電池使用製品へのリサイクルマークの表示についての問い合わせが多く、一般財団法人家電製品協会のガイドラインへのリンクを追加。引き継ぎ、HP 閲覧時に注意喚起文が目につきやすくなる方策、広報関連資料への掲載と効果を検討する。

◆広報総合委員会

(1) PR 活動

- ① コイン形・ボタン形電池の乳幼児誤飲事故防止
 - ・小田急線に広告掲載、現役保育士の育児漫画家を採用しInstagramで発信。
- ② 自動車用バッテリーの定期点検・買い替え促進
 - ・JACLA、スポーツニッポンに掲載、油業報知新聞に掲載予定。
- ③ 小型充電式電池の回収・リサイクル、廃棄時の注意喚起
 - ・3 分クッキング月刊誌に掲載、クリエイターを選考して X(旧 Twitter)で啓発予定。

(2) キャンペーン

- ・「電池は正しく使いましょう！」キャンペーンを毎日新聞に 7 月 3 週連続で啓発記事を掲載。記事内容は、誤飲防止、バッテリー点検、リサイクル。クイズ形式で応募数は 3,936 名。

(3) イベント活動

- ・8/7,8 開催の経済産業省“こどもデー”に出展。BAJ/JBRC 共同でブースを出し、多くの子どもたちに実験を通じて電池エネルギーについて学んでもらった。
- ・手づくり乾電池教室を 7 月 4 件、8 月 6 件、全国各地で実施。
- ・でんちフェスタは台風で中止。延期開催の可否検討中。

(4) 情報発信

- ・機関紙「でんち」：毎月発行
- ・We LOVE DENCHI：イベント等で配布。

◆国際環境規制総合委員会

1.地域別環境情報

(1) 欧州

- ・欧州連合は 2024 年 6 月 28 日、「持続可能な製品のためのエコデザイン規則(EU) 2024/1781」(ESPR)を官報で公布し、7 月 18 日発効した。具体的なエコデザイン要求事項は欧州委員会が別途制定する委任法で規定される。欧州電池規則 77 条(Battery Passport)に、次文が追加されている。『10. バッテリーを市場に投入または稼働させる事業者は、欧州議会および理事会の規則(EU)2024/1781 の第 13 条(1)で言及されているレジストリに一意の識別子をアップロードする必要があります。』

(2) 北米

- ・米国バーモント州のスチュワードシップが改正された。既存の一次バッテリー及び充電式バッテリーに関する製品スチュワードシップに、バッテリーを内蔵する製品の生産者にプログラムへの参加を義務付けるよう、プログラムが拡大された。
- ・2024 年 7 月 8 日、国際科学ジャーナル誌 Nature Communications は、

リチウムイオン電池に含まれる新たな有機フッ素化合物(PFAS)の使用が大気および水質汚染の原因となっているとの研究結果を掲載した。

- ・カナダ・ノバスコシア州で Call2Recycle が新たな州立バッテリーリサイクルプログラムを開始すること発表。

(3) 中南米

- ・チリ、廃棄物管理のための優先製品に関する 2023 年上市分の情報提出プロセスを開始。指定されている優先製品に、バッテリー(baterias)：5 kg 以上の電気エネルギー供給源、電池(pilas)：5 kg 以下の電気エネルギー供給源が含まれている。

(4) アジア

- ・インド、廃電池 EPR のラベリングに関する規定を明確化。
- ・インド、電池規則のリサイクル材含有量の規定を改正、自動車用電池／産業用電池への適用開始は 2027 年に延期された。

2.1 国際会議

- ・ICBR(国際電池リサイクル会議)@バーゼル(スイス)に 2 名参加。目的は海外電池リサイクル状況の定点観測と現地リサイクラー視察。

2.2 冊子更新準備

2.3 リサイクル施設の工場視察

- ・11 月、日本磁力選鉱株式会社を訪問予定。

4. JBRC 報告

I. 会員状況

9 月 1 日現在：385 法人(前回から 6 法人増)

II. 回収状況 (2024 年度 1Q 実績)

- ①回収量：393 t (前年比 86%)。ニカド、ニッケル水素が減少。有償回収が影

響。

- ② 正極系リチウムイオン電池回収量は Co 系の比率が増加。3 元系の集計方法を変更していることも影響。

Ⅲ. 具体的施策実施内容

1. 再資源化活動の深耕と強化

- ・資源法・小型家電リサイクル法等の改正に注意し、JEMA、家製協、小型家電リサイクル協会と情報交換して適切に対応する。
 - ・自転車用長尺電池の回収を検討中。
 - ・リサイクル意識向上として、マシンガンズ滝沢氏とのコラボ、オールナイトニッポンのラジオCMでPR。
 - ・埼玉県、川崎市と意見交換を実施。川崎市とはイベントで充電電池回収を通じた啓発活動を検討中。
 - ・経産省こどもデー出展、関東地区以外での出前授業に対応。
- #### 2. 安全とコンプライアンスの徹底
- ・非純正バッテリー(掃除機・自転車・電動工具用等)への注意喚起について、niteと意見交換実施。
 - ・広域認定の認可期間短縮については環境省へのお願いを継続。

3. 持続可能な経営体制作り

- ・産廃排出事業者からの有償回収を2024年4月より開始。問題なく運用しているが、回収量には影響あり。
- ・回収・会員管理システムは計画通り推進、2025年9月にシステム試験完了し運用試験を経て2026年4月導入予定。

4. その他

- ・環境省『リチウム蓄電池等処理困難物の対策に係る検討会』(8月19日開催)に参加。
- ・『NEDO Challenge, Li-ion Battery 2025/発火を防ぎ、都市鉱山を目指せ!』懸賞金候補者選定。

Ⅳ. 2024 年 7 月回収実績

- ・回収量 101 t (前年比 86%、ニカド 75%,ニッケル水素 79%,リチウムイオン 109%)

5. 事務局報告

- ・委員会から報告された案件以外で、関係省庁等が開催している検討会、公表事項について共有した。

以上

2024 年度 第 2 回一次電池部会を開催

2024 年 9 月 18 日（水）、植松部会長（セイコーインスツル株式会社）を議長に 2024 年度 第 2 回一次電池部会を Web 会議で開催した。開会に際して、植松部会長より BAJ 競争法コンプライアンス・ルールに則り、部会進行する旨の宣言がなされた。清水専務理事の挨拶、続いて前回議事録の確認後、各委員会代表者より、これまでの活動報告を行った。

1. 議事内容

（1）植松部会長の挨拶

残暑厳しい日が続いておりますが、週末から急に秋らしくなる天気予報になっております。季節の変わり目となりますので、皆様の体調管理には十分ご注意くださいようお願いいたします。

また、これから本格的な観光シーズンとなりますので、各委員会の集まりや意見交換等を予定している場合は早めの予約手配をお願いします。

（2）清水専務理事の挨拶

9 月 6 日正賛合同会議を開催、出席者は 142 名。合同会議にて説明した資料から一次電池に関しては次の 6 つの事項「①工業会の使命と活動②電池事業の国内販売状況③工業会の組織・部会活動④2024 年新体制について⑤能登半島沖地震緊急支援物資対応⑥経産省こどもデーと電池フェスタの対応」を説明しました。

最後に、消費者委員会の方に感謝申し上げます。宮崎の南海トラフの緊急情報の時、台風 10 号の時、待機をしていただきありがとうございます。日頃から皆さんのネットワークをつないでいただきますとスムーズな出荷につながると思います。大変ありがとうございました。

（3）審議事項

各専門委員会の活動報告

①ボタン電池回収推進委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 回収実績（4～8 月）

・協力店数微増、回収依頼は微減。

* 野村興産イトムカ鉱業所視察（8 月 2 日）：委託先の処理現場の定期確認

* 空気亜鉛電池の水銀含有量調査：平均含有率が大幅下落

* 法改正の動向

・令和 6 年度第 1 回水銀汚染防止法に関する技術検討会（8 月 8 日）に参加。

②器具委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 委員会開催実績について

* BAJ 規格「SBA S 1601 携帯電灯」改正検討について

・11 月に標準委員会を開催、承認を得て、2 月に改正版を発行予定。

* 視察研修会について

* 今後の活動予定について

③資材委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 2024 年度第 2 回委員会活動報告

・主要 4 材料の需要動向、価格動向
・下請法違反に関する意見交換

* 視察研修報告

・三菱マテリアル(株) 金属事業カンパニー精錬事業部 直島精錬所

④消費者委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 2024 年度活動報告

* 支援物資の供給可能数の定期更新結果

について

* 視察研修会について

⑤ P L 委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 2024 年度委員会開催状況について（第 1～3 回開催済み）

* 2023 年度一次電池重要クレーム情報まとめについて

* NITE 速報/国民生活センター 事故情報の共有結果について

* 視察研修会について

⑥ 技術委員会

1. JIS 規格原案作成

・JIS 改正原案の作成の活動がなく、報告内容なし。

2. IEC/TC35（一次電池）国際規格原案作成

・IEC 60086-1 次版 CD は 9 月末予定。IS は 25 年 6 月予定。

・IEC 60086-2 水溶液系と非水溶液系に分割する規格の IS 時期は、86-1 の IS に合わせる予定。

・IEC 60086-4 次版 CDV が可決。IS は 25 年 2 月を予定。

Saline soak test は、26 年 1 月 TR 化予定。

・IEC 60086-5 次版 CD 発行計画は遅延の見通し

・IEC62281 国際電池輸送委員会に参画、情報共有をおこなった。

3. コイン形リチウム二次分科会

・IEC61960-4 次版 Ed2 の IS が 7 月に発行し、プロジェクト完了。

IEC62133-2 Ed2 で、ソウル会議に直面参加し、日本提案の説明を行う。

* その他事項

・韓国電池工場火災対応

韓国リチウム電池工場で発生した火災につ

いて、経産省、消防庁の質問に回答した。

・国民生活センター資料確認

国民生活センターより誤飲事故防止注意喚起資料の内容確認依頼があり修正提案を行った。

・グリーン購入法のヒアリング対応

グリーン購入法の特定期間品目の判断基準の見直しについて、環境省ヒアリングに対応した。

⑦ 国際環境規制総合委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 地域別環境規制アップデート

・欧州：EU エコデザイン規則公布

・北米：バーモント州二次電池回収法、「Nature」誌がリチウムイオン電池と PFAS 汚染を関連づけ、カナダ ノバスコシア州で新たな電池回収プログラムを開始することを発表。

・中南米：チリ リサイクル法での廃棄物に関する情報提供要求を開始

・アジア：中国 RoHS に 4 物質追加、インド ラベリング要件と最低リサイクル材料使用率

* 今後の活動：ICBR(国際電池リサイクル会議 9 月 スイス)、冊子更新準備、日本磁力選鉱視察

⑧ 広報総合委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

1) PR 活動

・交通広告、Instagram でコイン形・ボタン形電池の乳幼児誤飲事故防止を啓発。

・情報誌、新聞、専門誌に広告を掲載して、自動車用バッテリーの定期点検・買替促進。

・月刊誌、SNS で小型充電式電池の回収・リサイクル、廃棄時の注意喚起。

2) キャンペーン

・「電池は正しく使いましょう！」キャンペーンとして、7 月 3 週間に渡り毎日新聞に啓発記事を掲載。テーマは、①コイン形・ボタン形電

池の誤飲防止②自動車バッテリーの点検・買替③小型充電式電池の回収・リサイクル、廃棄。

3) イベント活動

- ・経済産業省 こどもデー（8月7日、8日）への出展
今年が初出展で、電池エネルギーについて313人のお子様に学んでいただいた。
- ・でんちフェスタ（8/31 福岡市科学館）は台風のため中止。
- ・手づくり乾電池教室・エネルギー体験教室の募集を実施。夏休みのピークシーズンに10件実施。

4) 情報発信

- ・機関紙「でんち」：毎月発行
- ・We LOVE DENCHI：イベントで配布

（4）事務局報告

1) 統計データ報告

2024 年度 7 月度（4 月～7 月累計）の販売数量・販売金額の自主統計について報告。

2) 委員登録

2024 年度 電池工業会 一次電池部会 委員登録（2024 年 7 月 31 日更新）

3) 次回開催日程

2024 年 12 月 25 日（水）13:30～
Microsoft Teams 会議(オンライン会議)

以 上

2024 年 9 月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
議 特 、別 他 会	20日(金)	広報総合委員会	乳幼児誤飲防止啓発用SNS発信原稿案確認他
	25日(水)	新種電池研究会	新種電池に関する情報交換等
二 次 電 池 部 会	2日(月)	据置鉛分科会	JIS F 8101 船用鉛蓄電池 改正審議
	2日(月)	PL委員会	硫化水素事故調査報告書内容審議、日本RV協会への対応協議
	6日(金)	自動車鉛分科会	SBA G 0101 始動用鉛蓄電池の安全・取扱い指針 改正審議
	6日(金)	産電技術サービス分科会	リーフレット(IPS/TS-003a)の見直し作業
	6日(金)	資材委員会	共用金型の更新状況確認・24年度分発注処理確認
	13日(金)	技術委員会	9分科会24年度上期活動実績報告及び下期活動計画審議
	18日(水)	環境委員会	欧州電池規則対応状況すり合わせ
	20日(金)	用語分科会	SBA G 0206様式審査
	20日(金)	据置鉛分科会	SBA S 0301 可搬鉛蓄電池 改正審議
	24日(火)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	新規広域認定取得打ち合わせ(環境省指摘事項対応)
二 次 電 池 第 2 部 会	3日(火)	据置LIB分科会	産業用LIBのIEC規格対応
	4日(水)	技術委員会	技術全般に係る審議事項への対応
	5日(木)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
	5日(木)	国際電池規格委員会	IEC規格 ANSI規格等の審議対応
	9日(月)	リチウム二次分科会	IEC62133-2 Ed2審議
	9日(月)	非駆動用車載LIB分科会	非駆動用LIBのIEC規格策定
	11日(水)	法規WG	蓄電池の規制適正化検討
	12日(木)	CFP規格分科会	産業用LIBのカーボンフットプリント規格対応
	13日(金)	二次電池第2部会	各委員会からの報告および審議
	17日(火)	リユース規格分科会-リユース・リサイクルTF合同会議	リユース規格に関する審議
	18日(水)	普及促進委員会	蓄電池の普及促進に関する提言検討
	18日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池の普及強化に向けた戦略実現検討
	20日(金)	蓄電システムWG	公共建築工事・改修工事標準仕様書／設備工事標準図改訂検討
	25日(水)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応
	26日(木)	PSE WG	技術基準解釈改正等の対応についての整理
	26日(木)	ニカド・ニッケル水素分科会	ニカド・ニッケル水素電池 性能規格の改訂審議
一 次 電 池 部 会	3日(火)	コイン形リチウム二次分科会	IEC61960-4 Ed2、62133-2 Ed2審議
	4日(水)	規格委員会	IEC60086-1,-2-1,-2-2、JMT18、60086-4審議
	5日(木)	規格委員会	MT17審議
	6日(金)	技術委員会	国際幹事、規格委員会、コイン形リチウム二次分科会からの報告
	18日(水)	一次電池部会	各委員会からの報告および審議

7 月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2024 年 7 月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省機械統計より）

2017年9月より経済産業省機械統計のアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

2022年1月より経済産業省の機械統計は「その他のアルカリマンガン乾電池」は「アルカリ乾電池計」に統合されました。

2022年7月より経済産業省の機械統計は「アルカリ蓄電池（ニッケル・水素電池）」「その他のアルカリ蓄電池」は「アルカリ蓄電池計」に統合されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
			前年比	前年比			前年比	前年比
全電池合計	358,942	138,611	100%	104%	2,125,794	888,292	91%	102%
一次電池計	237,627	10,137	103%	107%	1,429,685	62,062	102%	106%
酸化銀電池	60,195	1,800	114%	113%	361,838	11,297	96%	116%
アルカリ乾電池計	102,354	4,236	105%	108%	600,120	24,191	101%	100%
単 三	—	—	—	—	—	—	—	—
単 四	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウム電池	75,078	4,101	92%	103%	467,727	26,574	110%	108%
二次電池計	121,315	128,474	96%	104%	696,109	826,230	74%	101%
鉛電池計	2,376	18,225	106%	112%	16,134	125,671	99%	107%
自動車用	1,798	11,811	105%	111%	12,409	81,829	99%	106%
その他の鉛蓄電池	578	6,414	107%	113%	3,725	43,842	97%	107%
アルカリ蓄電池計	37,152	31,988	102%	116%	208,410	209,706	88%	120%
ニッケル水素	—	—	—	—	—	—	—	—
その他のアルカリ蓄電池	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウムイオン蓄電池計	81,787	78,261	93%	99%	471,565	490,853	68%	94%
車載用	56,799	63,052	78%	91%	324,377	398,189	56%	86%
その他	24,988	15,209	164%	154%	147,188	92,664	128%	154%

7 月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2024年 7月）

（少数以下四捨五入の為、合計が含まないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	175,421	76,085	85%	115%	1,100,012	452,007	84%	112%
一次電池計	99,874	3,763	96%	110%	635,980	23,935	100%	116%
マンガン	0	0	－	－	69	3	－	－
アルカリ	2,782	93	31%	46%	58,947	1,486	78%	98%
酸化銀	55,057	1,655	126%	139%	320,512	9,286	106%	129%
リチウム	42,034	1,941	83%	96%	256,451	12,983	101%	110%
空気亜鉛	0	0	0%	0%	0	0	0%	0%
その他の一次	0	74	70%	15723%	1	177	502%	143%
二次電池計	75,547	72,322	74%	115%	464,032	428,072	69%	111%
鉛蓄電池	153	1,342	99%	108%	934	8,352	119%	126%
ニカド	86	77	140%	212%	1,031	391	71%	82%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	－	－
ニッケル水素	14,549	18,115	123%	145%	74,535	100,108	128%	131%
リチウムイオン	50,578	47,168	62%	116%	318,057	278,362	55%	111%
その他の二次	10,182	5,619	116%	64%	69,476	40,861	173%	81%
全電池合計（輸 入）	151,529	45,786	119%	110%	854,027	331,920	101%	115%
一次電池計	142,984	3,468	119%	145%	800,537	17,608	101%	112%
マンガン	6,011	130	70%	85%	54,418	922	84%	84%
アルカリボタン	1,244	24	80%	147%	17,416	190	97%	117%
アルカリその他	112,642	1,734	116%	115%	607,503	9,791	100%	105%
酸化銀	168	6	74%	66%	1,106	59	93%	119%
リチウム	13,944	875	143%	145%	80,887	4,384	116%	105%
空気亜鉛	8,941	177	313%	203%	39,147	799	124%	104%
その他の一次	34	521	1111%	12611%	61	1,464	391%	624%
二次電池計	8,546	42,318	119%	108%	53,490	314,312	100%	115%
鉛蓄電池	888	5,413	120%	129%	5,695	35,383	104%	111%
ニカド	114	206	943%	96%	418	1,615	115%	118%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	－	－
ニッケル水素	2,746	470	180%	89%	12,685	2,671	103%	85%
リチウムイオン	4,792	30,299	99%	108%	34,632	228,213	99%	114%
その他の二次	6	5,931	31%	100%	60	46,430	31%	128%